

授業科目

神経科学概論

担当教員名 影山 幾男	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		

授業の概要

多数の神経細胞が、あるいは脳領域がそれぞれどのような活動をしているのか、そしてどのように相互作用をしているのか、神経細胞同士のシナプスの伝達機構、制御機序、およびそのシグナル伝達系に関する理解を深め、記憶・学習など脳高次機能についても学ぶ。中枢神経系と末梢神経系との違いについて学ぶ。

授業の目的

神経系の正常機能と「脳」「脊髄」「末梢神経」の構造、神経系の障害による症状と疾患のメカニズムの理解を目指す。

学習目標

1. 脳と脊髄の基本構造を理解できる。
2. 上行性伝導路、下行性伝導路について理解できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	中枢神経系、末梢神経系の違いについて理解する。	講義	影山 幾男
2	機能局在、大脳基底核について理解する。	講義	影山 幾男
3	脳幹について理解する。	講義	影山 幾男
4	上行性伝導路（触覚、温痛覚）について理解する。	講義	影山 幾男
5	上行性伝導路（視覚路、聴覚路）について理解する。	講義	影山 幾男
6	上行性伝導路（味覚路、嗅覚路）について理解する。	講義	影山 幾男
7	下行性伝導路について理解する。	講義	影山 幾男
8	神経筋接合部障害、脳障害について理解する。	講義	影山 幾男

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	神経局在診断 改定第6版	Mathias Baehr, Michael Frotscher	文光堂	2016年	11,000円+税	
参考書						
その他の資料	プリント					

評価方法

客観試験（MCQ）・論述試験で評価する。

履修上の留意点

出来るだけ多く質問すること

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。